

東京音楽大学 ピアノ教員による

Collaborative Piano Concert

～チェロ・ソナタとイタリア近代歌曲の夕べ～

2021.10.9 (土) 17:00開演 (16:15開場)

TCMホール 東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス 全席指定 2,000円



ドミトリー・フェイギン



石井 克典



木下 美穂子



御邊 典一

第1部

ドミトリー・フェイギン *Cello*
石井 克典 *Piano*

S.ラフマニノフ／チェロとピアノのためのソナタ ト短調 作品19

第2部

木下 美穂子 *Soprano*
御邊 典一 *Piano*G. プッチーニ／太陽と愛
そして小鳥はP.チマーラ／ストルネッロ
海のストルネッロ

O.レスピーギ／四つの抒情詩より 昔の歌に寄せて

A.ドヴォルザーク／歌劇「ルサルカ」より “月に寄せる歌”

2021年9月2日(木) 10:00より一般予約受付開始

東京音楽大学チケットサイト
<https://www.e-get.jp/TCM/pt/>

本公演は新型コロナウイルス感染拡大を受け、対策を講じて行います。詳細は裏面及び本学チケットサイトをご覧ください。

東京音楽大学演奏会情報チャンネル
当公演は、後日、東京音楽大学演奏会情報チャンネルにて動画配信の予定です。



※チケットのお申し込みには会員登録（登録無料）が必要となります。
※在学生は、本学より付与されている会員アカウントをご利用ください。
※ご来場の際には、日本政府の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のご活用をお願いいたします。

※やむを得ぬ理由により、予告なく、出演者、曲目等変更の可能性がございますので、ご了承ください。

※乳幼児のご入場はご遠慮ください。また、車椅子をご利用の方は演奏課までお問い合わせください。

お問い合わせ／演奏会お問い合わせ窓口

TEL 03-6379-3788 (10:00～17:00 平日のみ)

主催／東京音楽大学

ドミトリー・フェイギン

Dmitry Feygin



ロシア人チェリスト、ドミトリー・フェイギンは、有名なチェリストであった父、ヴァレンティン・フェイギンと、有名なチェロ教師であった母、ガリーナ・ズーヴァレヴァのもとに、モスクワに生まれる。その後、モスクワ音楽院中央付属音楽学校にて英才教育を受け、後にモスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間、父にチェロを、室内楽をショスタコヴィッチ室内楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンなどに師事する。モスクワ音楽院在学中、1991年にモスクワ院大ホールにて指揮者アレクサンドル・ヴェデルニコフ（現ボリショイ劇場常任）指揮により、チャイコフスキー作曲『ロココのテーマによる変奏曲』でデビューする。今までにショスタコヴィッチ室内楽コンクール、日本のチェロコンクールなど数々の賞を受賞。ショスタコヴィッチ室内楽コンクールではショスタコヴィッチ夫人から特別にソナタ賞を授与される。1986年からロシア国内外で演奏活動をはじめ、NEW-VIKTRING フェスティバルや CARINTHISHER フェスティバル（唄）、カルマル・フェスティバル（仏、主催はロシア人ヴァイオリニスト、スピヴァコフ）、オレグ・カガン・フェスティバル（露、ナタリア・グッドマン主催）、モスクワ11月芸術祭などに出演する。'95年からはモスクワ・コンサート・フィルハーモニー協会のソリストを務め、モスクワ音楽院付属音楽学校で教える。'99年にはロシア人指揮者、イリヤ・ムーシンなどと共演する。'06年からはモスクワフィルハーモニア協会主催による定期演奏会に、毎年、チェロとピアノ、デュオ室内楽のシリーズに新見・フェイギン・浩子（ピアノ）と連続出演している。最近では、小林研一郎、広上淳一など世界的に有名な日本人指揮者などと日本のオーケストラとも共演する。さらに韓国やベトナムなどの有名なオーケストラとも共演する。現在、日本を始めロシア、韓国のコンクールの審査員や、さらに中国やアジアを中心に公開レッスンなども行う。ロシア、日本やアジアを中心にソロや室内楽で活躍している。2016年にシューベルト アルペジオーネ ソナタ他CDをリリース。2018年には、バッハ無伴奏チェロ組曲全曲CDをリリース、全曲演奏会を行った。2020年20世紀無伴奏チェロ曲集 コダーイ、レーガー、ヴァインベルクCDをリリース。現在東京音楽大学教授。

石井 克典

Katsunori Ishii



1996年、ニューヨーク・マネス音楽大学大学院をJ・フィーデルマンピアノ賞を得て修了。これまでにソリストとして、ブラハ放送響、ニューヨーク・ニューアムステルダム響、カユーガ室内管、オハイオ室内管、コストリカ国立響、読売日響、日本フィル、東京シティ・フィル、九響、大阪響、札幌響、広島響、浜松フィル等と協演、日本テレビ「深夜の音楽会」他に出演。ハイドン・イヤーの2009年にはヴァイアナ・ド・カステロ国際音楽祭（ポルトガル）に招かれ、ハイドンのピアノ協奏曲へ長調を自作カデンツァで演奏、好評を博す。ヴァイカースハイム国際音楽祭（独）、エンゲルス国際音楽祭（独）、中国の西安音楽学院、ラゴマジョーレ・レザ（伊）でのピアノ・サマー・アカデミー等に招聘され、国内外で広くコンサート活動を行うと共に、多くのマスタークラスで後進の指導にも努めている。カリフォルニア国際コンクールピアノ部門（米）審査員。第3回アセアン・ショパン国際ピアノコンクール（マレーシア）審査員。日本音楽コンクール審査員。浜松国際ピアノコンクール運営委員および専門委員を歴任。東京音楽大学教授。

CD: 愛の言葉：グラナドス、ストラヴィンスキー、シューベルト (OVCT-00133) シューベルト: 即興曲 D.935& ムソルグスキー: 展覧会の絵 (SONARE1002)

木下 美穂子

Mihoko Kinoshita



武蔵野音楽大学卒業、同大学院及び二期会オペラスタジオ修了。出光音楽賞、新日鉄音楽賞、日本音楽コンクール第1位、日伊声楽コンクール第1位、イタリア声楽コンクール・シエナ大賞、イタリア・ブッセート市 ヴェルディの声国際声楽コンクール第2位、リチーア・アルバネーゼ プッチーニ国際声楽コンクール（ニューヨーク）第1位等、受賞歴多数。2002年小澤征爾指揮『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラでデビュー。以降東京二期会『蝶々夫人』、『ボエム』 ミミ、『仮面舞踏会』アメリア、『ホフマン物語』アントニア、『カルメン』ミカエラなどに出演。海外では、スポケーン交響楽団『ヴェルディ・レクイエム』、ミシガンオペラ、バンクーバーオペラ、ロンドン・ロイヤルアルバートホール『蝶々夫人』などに出演。近年は東京二期会『ローエングリン』エルザ、『トスカ』、グランドオペラ共同制作『アイダ』題名役、『トゥーランドット』リュウ等を演じ、『フィデリオ』主演。8月には東京二期会 ヴェルディ『レクイエム』に出演予定。二期会会員、東京音楽大学准教授。

御邊 典一

Norikazu Onbe



三重県度会郡二見町出身。信愛学園高等学校音楽科（現・浜松学芸高等学校）卒業後、東京音楽大学に進学。在学中より演奏活動を始め、国内外の一流声楽家と共演も数多く行うが、中でもイタリアの往年のテノール、レオニダ・ペロン氏との共演は好評を博した。オーストリア、オランダを始め、海外での出演も多く、フランスのコルマルの劇場に於いてはピアノ独奏、声楽伴奏の両役を果たし高い評価を受けた。'98年には中国・オランダ、2000年には韓国・ギリシャ等への演奏旅行にも参加。'99年に初のリサイタルを行い、'01年には、すみだトリフォニー大ホールに於いて、グリーグのピアノ協奏曲のソリストとして出演。近年は、声楽伴奏はもとより、名ピアニストの編曲作品や、自身の編曲による曲も取り入れてサロン等でトークを伴った独自のコンサートを行なっている。2014年から御邊大介と[二代×二台]のデュオ活動を始め各地で演奏依頼を受け出演。また、2016年（川口リリア音楽ホール）2019年（ヤマハホール）に於いてデュオリサイタルを開催した。東京音楽大学准教授。お茶の水女子大学講師。

会場案内

東京音楽大学 <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>
中目黒・代官山キャンパス TCMホール（ホール入口は3階 代官山駅側）



東京音楽大学主催演奏会 運営について

東京音楽大学主催演奏会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対策を講じて、お客様に安心して公演をご鑑賞いただけるよう努めております。下記QRコードで東京音楽大学ホームページの「東京音楽大学主催演奏会の運営について」を必ずご確認の上、マスク着用にてご来場ください。なお、体調不良が見受けられる場合は、入場をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。

